

「ひらおで暮らす」を支える

# おで

ひらお社協だより

4.8発行

2022 No.206

わたし  
私たちのまちをみんなの手で住みよいまちへ



かくち ひろ せいかつ しえん かつどう  
各地に広がる生活支援の活動

移動手段にお困りの方を支援するために、地域のボランティアのみなさんが専用車両を使って買い物や通院などの送迎をする「おでかけ支援事業」。現在、こういった移動支援の活動が町内3地区（大の野・佐賀・宇佐木）で実施されています。



ちょうない  
町内をまわる移動販売車を利用  
する方も増えています

【編集・発行】

社会福祉法人 平生町社会福祉協議会

平生町大字平生村 618-2 あいあむ

TEL 56-8000 FAX 56-8020

✉ mail fukushi@hirao-shakyo.or.jp

🌐 HP https://hirao-shakyo.or.jp



ひらお社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

# 「ひらおで暮らす」を支える”おまかせ”

令和4年度

## 実施事業／予算

### ～経営理念～

- 平生町社会福祉協議会は、だれもが安心して暮らせる「ひらお」のまちづくりをすすめます
- 平生町社会福祉協議会職員は、人としてひとを大切にすることをプロフェッショナルを目指します
- 私たちは住民の満足、お客様の満足、職員の満足を追求し続けます

### ～重点目標～

#### 1 持続可能な経営構造への転換

- 1) 専門職集団としての付加価値を創造する
- 2) 行政に期待される役割の再確認
- 3) 新たな受託事業の働きかけ
- 4) 受託事業における契約条件の適正化
- 5) 社会課題に対応するサービスの開発と推進

#### 2 「DX」の推進

- 1) ICTの活用
- 2) 情報発信、連絡手段への活用

### 1 持続可能な経営構造への転換

2022年は、新型コロナウイルス感染症の急激な再拡大とともに年明け、県東部においては県内初となるまん延防止等重点措置区域が指定されました。まん延防止等重点措置の適用は解除されたものの、昨年からの介護事業の減収に僅かながら改善もみられ始めた矢先でしたので、今年度も厳しい状況からのスタートが予測されます。現在の法人運営は、保険制度にもとづく介護事業の収益で法人と地域福祉推進活動を支える構造となっているため、地域福祉推進活動や受託事業、福祉行政への影響も少なくありません。

本町における介護給付実績の傾向は、施設サービスが継続的な伸びを見せていることに対し、在宅サービスでは近年減少傾向が続いています。新型コロナウイルス感染症による影響も心配されますが、町の人口減少とともに、サービスの需要と供給のバランスの変化も感じられます。

住民のみなさまや民生委員児童委員さんからの総合相談窓口として幅広く同じ窓口で機能している強みを活かし専門職集団としての付加価値を創造するとともに、社協が行政に求められる役割の再確認と介護事業に依存しない地域福祉の推進に係る財源の確保への転換を図っていくことが必要です。

### 2. 「DX」の推進（デジタル化の推進）

社会を俯瞰してみますと新型コロナウイルス感染症の発生も契機のひとつとなり、大きく変わろうとしています。テレワークやWeb会議、選択制週休3日制、居住地を自由に選択できる雇用制度など働き方の変化や、所有意識、電子決済、サブスクリプション、カーボンニュートラルなど商品や消費行動の変化、さらには生活にまつわる様々な商品価格の値上げや交通機関の路線廃止なども報道されており、あらゆる意味での持続可能性が社会の中で変化しています。保険制度に基づく事業収入を主とする現在の本会では、こうした社会の変化に立ち遅れてしまうことが心配されます。周囲の環境が変わるのを待つのではなく、これまでの常識に捉われないこと、私たち自身が持続可能な形に変化させていくことが必要です。

今年度におきましては、本会の行動理念「ひらおで暮らす」を支える」という原点をみつめ、専門職集団を形成する本会の強みを活かしていくこと、暮らしを支える新たなサービス開発にも挑戦しながら新しい経営構造への転換に取り組んでいきます。

## 企画総務部

重点目標 ・ 持続可能な組織体制の構築  
 経営課題の抽出と対応策の検討  
 地域生活課題に対応するサービスの開発と推進

・「ひらおで暮らす」を支える包括的支援体制の推進  
 複合化・複雑化する地域生活課題への対応力強化  
 多様な地域福祉の担い手の参画促進

- 法人運営
- 人財育成の推進
- 地域福祉活動の推進  
 住民福祉活動の支援、ボランティア活動の支援、生活支援  
 体制整備事業（生活支援コーディネーターの設置）、いき  
 がい・助け合い応援事業
- 福祉教育の推進
- ひらお♡はつらつ人生の推進  
 介護予防事業、集いの場の活動支援

- 相談機能の充実  
 地域福祉課題への対応、各種資金貸付事業、福祉サービ  
 ス利用援助事業、地域包括支援センターの運営、認知症  
 総合支援事業
- 各種在宅福祉サービスの実施
- 広報・啓発活動
- 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動
- 指定就労継続支援事業所「あいあむ」の運営

## 事業部

重点目標 ・ 持続可能な事業所運営  
 科学的介護の検討と自立支援の促進  
 暮らしを支える専門職  
 働きやすい職場環境づくり

・ ICTの活用  
 ICTの活用による事業の効率化と効果的な  
 情報発信

- 各事業所の事業運営
  - ・ ケアセンターあいあむ  
 通所介護事業  
 介護予防・日常生活支援総合事業第一号通所事業  
 訪問介護事業  
 介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業  
 基準該当生活介護事業  
 居宅介護（重度訪問介護）事業  
 居宅介護支援事業
  - ・ はつらつセンター  
 通所介護事業  
 基準該当生活介護事業

- ・ ひらお♡みんなの家  
 （介護予防）認知症対応型共同生活介護事業
- ・ さが♡みんなの家  
 （介護予防）認知症対応型通所介護事業
- サービスの質の向上  
 サービス内容の評価・見直し、人財育成、リスクマネジ  
 メント、地域との連携
- 在宅介護推進に向けた取り組み  
 介護者のつどいの開催
- 『あいあむ+』プロジェクトの推進  
 あいあむ+ClubH2O、ICTの活用

## 令和4年度予算

(単位：千円)

収 入			支 出		
項 目	予算額	%	項 目	予算額	%
会費収入	1,400	0.46%	人件費支出	206,773	67.43%
分担金収入	1,797	0.59%	事業費支出	30,618	9.98%
寄付金収入	2,000	0.65%	事務費支出	11,253	3.67%
経常経費補助金収入	7,550	2.46%	就労支援事業支出	2,200	0.72%
受託金収入	6,500	2.12%	貸付事業支出	100	0.03%
貸付事業収入	100	0.03%	分担金支出	1,797	0.59%
事業収入	3,245	1.06%	助成金支出	2,410	0.79%
介護保険事業収入	221,625	72.28%	負担金支出	210	0.07%
就労支援事業収入	2,200	0.72%	支払利息支出	990	0.32%
障害福祉サービス等事業収入	10,100	3.29%	その他の支出等	360	0.12%
その他の収入等	590	0.19%	設備資金借入金元金償還支出	14,004	4.57%
設備資金借入金償還補助金収入	9,212	3.00%	ファイナンシャル・リース債務の返済支出	890	0.29%
繰越金	40,320	13.15%	退職手当積立基金預け金支出	6,593	2.15%
			当期末支払資金残高	28,441	9.27%
合 計	306,639		合 計	306,639	

# ひらおつながりプロジェクト 「届け！みんなの声」

社協だより2月号（205号）で募集した日常生活の中での『ちょっといい話』。  
応募いただいた中からいくつかをご紹介します。

## テーマ『ちょっといい話』



今も車の運転を続けています。我が家の近くには中学校があり運転中に下校の生徒との出会いがあります。交差点で横断待ちになることがあります。交差点で横断待ちになることがありますが車に向かって止まってくれてありがとうございます。笑顔で頭を下げて急いで通り過ぎて行きます。最近ウォーキングを始めました。信号のない横断歩道を通ることがありますが私を見つけて車を止めてくれることがあります。感謝の気持ちに笑顔添えて渡りますが足が軽くなった気持ちになります。（米寿のジージ）

最近耳にした「ちょっといい話」をご紹介します。今年の冬、寒い日の出来事です。ある高齢の男性が散歩中に強風にあおられて転倒し、負傷して道端で動けなくなっていたところ、通りかかった男子高校生が男性を背負って自宅近くまで送り届けてくれたそうです。話をきいて、高校生のやさしさと勇気に感心するとともに、とてもあたたかい気持ちになりました。（いちご大福）

## 福祉車両を寄贈いただきました

今年度、公益財団法人24時間テレビチャリティー委員会より福祉車両（車いすに乗ったまま乗降できるリフト付きバス）を平生町社会福祉協議会へ寄贈いただくことが決定し、3月16日に県内の贈呈先を代表して、ケアセンターあいあむで贈呈式が行われました。

あいあむフェスタで行われる平生町の皆さまの募金活動をはじめ、全国から寄せられた寄付金で購入された車両を、これからテイサービスを利用していただく送迎用として有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



贈呈式の様子

## ～地域にやさしいお店～

## ひらお安心ネットワーク

ひらお安心ネットワークとは、商店等を営む業者の皆さま（協力店）が、業務の中で高齢者等から生じた不安や相談事等を聞かれた際に、相談窓口（平生町高齢者地域包括支援センター、平生町社会福祉協議会）をご紹介いただくことにより、問題の予防・早期発見に向けた支援につなげていくものです。例年、協力店の皆さまにお集まりいただき意見交換を行っていましたが、今年度は感染対策のため、アンケートにて意見をいただきました。

「食品の配達をしてほしいという問い合わせがあるが、なかなか対応が難しい」「繰り返し同じ商品を購入される方がいらつやり、気になっている」「お客様の日常の困りごとを手助けしたいと思っている」など、業務の中での気づきやご意見を多数頂戴しました。いただいたご意見等は、今後の地域福祉活動や見守り活動に役立てさせていただきます。

～コロナ禍での活動を考える～

ボランティア交流大会 開催

2月7日、山口県社協と山口県ボランティア連絡協議会主催のボランティア交流大会が開催され、平生町ボランティアグループ連絡協議会役員の皆さまがオンラインで参加されました。

当日は、山田博子会長より『平生町みんなで取組むボランティア』というテーマで平生町の皆さんがこれまで実践してきた活動についての報告も行われました。

この県域で行われたボランティア交流大会を通して、感染対策やボランティアの担い手不足などさまざまな問題が浮上する中、それぞれが知恵を出し合いながら活動を継続している様子を知ることができました。また、日頃の活動の意味や意義について再確認するよい機会となりました。



ご報告 赤い羽根共同募金実績

～皆様のご協力ありがとうございました～

戸別募金

〈平生地区〉 坂の下二区自治会	5,500円
〈曾根地区〉 平原自治会	5,000円

赤い羽根ガチャガチャ募金

4,000円



募金百貨店プロジェクト

れすとらん♡あいあむ	1,520円
赤い羽根支援自販機	16,552円

～募金百貨店プロジェクトとは～

“寄付つき商品・企画”を販売し、売り上げの一部を赤い羽根共同募金に寄付することにより、地域社会に貢献する企業・団体等を募集するプロジェクトです。

役立てられています！みんなの赤い羽根共同募金

点訳

(てんとうむし)

てんとうむしは、昭和62年に開催された「点字教室」の卒業生を中心に結成されたボランティアグループです。

共同募金は点訳活動や点訳教室など障がい理解の普及啓発にも役立てられています。

～ありがとうメッセージ～

町広報の点訳や、会員が講師を務める点訳教室の開催、町内各学校での点字講習の指導などを行っています。共同募金は、点字用紙や点字の手引きの購入に使わせていただいています。点字に関わっている年数は会員によって様々ですが、読まれる方々のことを思い、みんなで教え合いながら丁寧な作業をしています。点字を通して地域福祉の向上につながればと思います。



## てんやくきょうしつ さんか 点訳教室に参加してみませんか？

今年度も点訳教室を随時開催いたします。  
年齢・性別・経験などは問いません。ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

- 《開催日時》毎月第2・4木曜日 10:00~12:00 全8回
- 《場所》平生まち・むら地域交流センター
- 《講師》点訳ボランティアグループ「てんとうむし」の皆様
- 《受講料》無料
- 《持参物》筆記用具（鉛筆、消しゴム、赤鉛筆）



※ 道具、教本はこちらでご用意いたします。  
※ 全8回の日程を修了された方には、平生町社会福祉協議会より修了証書をお渡しいたします。

【お問合せ】 あいあむ（平生町社会福祉協議会） ☎ 56-8000

## ふれあいの輪を広げましょう！ いきいきサロンをつくってみませんか？

いきいきサロン活動とは、「身近な場所」で「気の合うお仲間」と「楽しいひととき」を過ごす活動です。あいあむ（平生町社会福祉協議会）では、新たにサロンをつくる方を応援しています。2人以上集まればサロンをつくることができます。少人数のグループも大歓迎です。いきいきサロンに参加して、皆さんで楽しい時間を過ごしてみませんか。  
詳しくは下記までお気軽にお問い合わせください。

【お問合せ】 あいあむ（平生町社会福祉協議会）企画総務部 ☎ 56-8000

### ありがとうございました

2月24日、西日本ステンレス鋼線株式会社（古谷誠英代表取締役社長・布施町）より、地域社会貢献の一環として本会へ社会福祉資金をご寄付いただきました。  
地域福祉推進のために有効に活用させていただきます。



浄園寺仏教婦人会様

ダイナ（布施）として

虹の会様

西日本ステンレス鋼線株式会社  
代表取締役社長 古谷

社会福祉資金

水越山	やぶ崎川	磯崎坪	浜田田	沼田	松尾	田路木	六枚	桜町
山本	川崎美智子様	坪田義登様	菊本進様	岩沼光裕様	築出秀文様	名合勲様	杉谷恵子様	三原博様
御令室	御主人	御令室	御尊父	御尊父	御尊父	御令室	御主人	御令室
和恵様	利雄様	俊子様	市郎様	徹道様	繁昭様	洋子様	康男様	明子様

香典返し

◆ご芳志ありがとうございました◆  
(2/153/31迄)  
(順不同)